

平成 28 年度社会福祉法人久慈市社会福祉事業団事業報告

I 事業の概要

久慈市社会福祉事業団は、平成 15 年 3 月に久慈市により設立され、特別養護老人ホームぎんたらず久慈、養護老人ホーム養寿荘のほか、大川目地区、元気の泉、山根地区、宇部地区のデイサービスセンター等について、久慈市から指定管理者の指定を受けて利用者の利便性とサービスの質の向上に努めてきたところである。

平成 27 年度の介護保険法の改正に伴う介護報酬単価の見直しにより、基本報酬単価が大幅に減額改定されるなど、介護保険サービス事業所は厳しい財政状況にある。また、介護業界は全国的に人材が不足しており、職員が疲弊し離職者が増加する傾向にある。

このような中、平成 28 年度において久慈市から事業譲渡を受け、新たに「居宅介護支援事業」、「訪問介護事業」、「訪問入浴介護事業」、「居宅介護・重度訪問介護・行動援護事業（障害者）」の 4 事業を開始し、当事業団のスケールメリットを生かし市民のニーズに応えることとした。人員配置に意を用い、一層効率的な運営に努めるとともに、基本理念の「利用者の尊厳及び人権を尊重し、その人らしい人生を大切にする」、「利用者の願いや要求に真摯に向き合い、理解し、共感する」、「利用者本位の自立・自己実現・自己決定の過程を支援する」ことに則り、次の 4 項目を運営方針に掲げ事業を実施した。

平成 28 年 8 月 30 日に襲来した台風 10 号の被害により、停電となった山根地区デイサービスセンターでは、計 8 日間の営業休止となった。また、特別養護老人ホームぎんたらず久慈では、福祉避難所を開設して避難者の受入を行った他、緊急を要する要介護者について定員超過で受入を行った。

II 運営方針

- (1) 介護分野における人材確保が厳しい状況に鑑み、職員の定着を図るため、処遇改善に努める。
- (2) 多様な利用者のニーズに応える質の高いサービスを提供するため、職員の研修制度を拡充する。
- (3) 介護報酬等について、各種加算を受けられるよう体制を整備する。
- (4) 社会福祉法人の持つ公益性に鑑み、法人組織の体制強化及び法人運営の透明性を充実する。

Ⅲ 事業内容

1 事業団事務局

事業団の理事会、評議員会の開催及び出納調査を実施し、適正な法人運営に努めた。

また、各施設に苦情相談窓口を設置し、意見や要望の集約を図るため情報交換会を開催したほか、各種事業を下記のとおり実施した。

(1) 理事会

会議名	期日	主な内容
第1回理事会	平成28年5月20日	・業務管理体制整備規程の制定及び就業規則等の一部改正について（報告） ・事業報告について ・決算について ・資金収支補正予算（第1号）について ・評議員の補充選任について
第2回理事会	平成28年12月22日	・評議員選任・解任委員会の運営に関する規程の制定及び元気の泉居宅介護支援事業運営規程等の一部改正について（報告） ・資金収支補正予算（第2号）について ・定款の一部改正について
第3回理事会	平成29年2月1日	・評議員選任・解任委員の選任について ・評議員候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会の招集について
第4回理事会	平成29年3月1日	・評議員の選任結果について（報告） ・資金収支補正予算（第3号）について ・事業計画について ・資金収支予算について

(2) 評議員会

会議名	期日	主な内容
第1回評議員会	平成28年5月20日	・事業報告について ・決算について ・資金収支補正予算（第1号）について
第2回評議員会	平成28年12月22日	・資金収支補正予算（第2号）について ・定款の一部改正について
第3回評議員会	平成29年3月1日	・資金収支補正予算（第3号）について ・役員を選任について

		<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画について ・資金収支予算について
--	--	--

(3) 出納調査

会議名	期 日	内 容
監 査 第1回出納調査	平成28年5月16日	・平成27年度事業報告及び会計監査並びに1月～3月までの一般会計執行状況
第2回出納調査	平成28年8月23日	・4月～6月までの会計執行状況
第3回出納調査	平成28年11月28日	・7月～9月までの会計執行状況
第4回出納調査	平成29年2月28日	・10月～12月までの会計執行状況

(4) 福祉サービスに係る苦情解決事業

会議名	内 容 等							
	施設名	苦情	目安箱	郵送	要望等	計	再掲	
							解決	継続中
情報交換会 (平成29年3月15日)	ぎんたらず久慈	1				1	1	
	養 寿 荘 (特定施設・訪問介護)				1	1	1	
	大川目地区デイサービスセンター	1				1	1	
	元 気 の 泉 (居宅・訪問・入浴・ヘルパー)	1				1	1	
	山根地区デイサービスセンター							
	宇部地区デイサービスセンター							
	計	3				1	4	4

(5) 各種事業

事業名	期 日	内 容
地域公開講演会	平成29年2月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「メンタルヘルス研修 セルフケア」 講師 岩手産業保健総合支援センター 産業保健相談員 臨床心理士/精神保健福祉士/産業カウンセラー 藤井 由里 氏 参加者：70名（うち外部18名）

2 特別養護老人ホームぎんたらず久慈

老朽化に伴いナースコールを更新し、サービスの維持向上に努めた。

(1) 家族との交流について

家族会を組織し、家族と施設が連携を密にし、信頼関係のある運営に努めた。

- ・ 家族会総会 平成 28 年 5 月 29 日に開催（出席者 12 人）
- ・ 主な交流行事

夏まつり	7 月 27 日開催	家族 23 人参加
敬老会	9 月 14 日開催	家族 31 人参加

- ・ 面会状況

延面会者数 (長期・短期)	2,427 人	月平均 (長期・短期)	202.3 人
------------------	---------	----------------	---------

(2) 生活面及び健康面について

①生活面においては、季節感を取り入れるため下記の行事を開催した。

- ・ 誕生日会 ・ ドライブ ・ こいのぼりフェスティバル ・ 訪問演芸会 ・ 夏まつり
- ・ 敬老会 ・ 歳末芸能大会見学 ・ クリスマス、忘年会 ・ もちつき ・ 節分（豆まき）
- ・ 車いすの寄贈 ・ 畑クラブ ・ 料理クラブ ・ 男子会（お茶会） ・ 女子会（お茶会）
- ・ 交流会（園児との） ・ やませあきんどまつり観覧 ・ 出前会 ・ 移動図書館

②健康面の管理については、嘱託医による定期診療及び協力病院と連携を図りながら健康の保持、感染症の予防と早期対応に努めた。（健康診断年 1 回）

歯科医師会の協力を得て歯科検診を行った。

(3) ボランティアの受け入れについて

小学生、中学生、高校生のボランティアの受け入れを随時行い、高齢者とのふれあいに努めるとともに、福祉の心の醸成に努めた。また、一般のボランティアも積極的に受け入れ、利用者との交流を図った。

ボランティア (一般・学生等)	3 件	・ 生け花、傾聴ボランティア 夏祭りボランティア他
訪問(一般・学生等)	6 件	・ すずらん訪問、訪問演芸会 こども会他
実習(一般・学生等)	8 件	・ 現場実習、職場体験学習他

(4) 利用者、家族の意見等の反映について

苦情相談窓口を設置し、意見や要望の集約を図った。日常生活においては、担当介護員が中心となり、コミュニケーションを多くすることで利用者の声を介護に反映させるよう努めた。また、家族には面会時の会話や報告を多くすることで信頼関係の確立に努めた。

(5) 食事について

生活の中で楽しみとなる食事は、栄養並びに利用者の身体の状況及び嗜好を考慮するとともに、適時適温とし、季節感のある食事の提供に努めた。

- ①行事食 17 回 ②麺の日 毎月第 2・4 火曜日 ③パンの日 毎月第 2 木曜日

- ④お好み昼食（選択食） 奇数月第1金曜日 ⑤喫茶の日 毎週水曜日
 ⑥嗜好調査 2回 ⑦残菜調査 2回

(6) 委員会活動について

潤いのある生活を送れるよう援助するため、内部組織として次の委員会を設置し生活レベルの向上に努めた。

- ①行事・給食委員会 行事、レク活動等の準備・計画及び利用者の食事に関すること。
 ②広報委員会 広報の発行、壁紙新聞の作成、標語の掲示等に関すること。
 ③保健・排泄委員会 保健衛生・健康管理及び排泄ケア、おむつに関すること。
 ④環境委員会 居室環境の改善・整備、物品の管理等に関すること。
 ⑤リスクマネジメント委員会 安全確保、身体拘束廃止の推進等に関すること。
 ⑥褥瘡対策委員会 褥瘡発生防止、褥瘡ケアに関すること。
 ⑦感染対策委員会 感染症の防止、発生時の対策に関すること。
 ⑧事故防止委員会 事故防止、発生時の対応に関すること。
 ⑨喀痰吸引等に係る安全委員会 喀痰吸引等の安全対策に関すること。

(7) 職員の資質向上について

内部研修を開催するとともに、外部研修への積極的な参加促進に努め、職員の資質向上を図った。

- ①外部研修会・会議等参加状況 112回
 ②内部研修会開催状況 11回

(8) 利用者の状況について

①月別入退所状況 平成 29 年 3 月 31 日現在（単位：人）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初入所人員数	48	49	48	50	48	50	50	50	49	50	47	49	588
入所	2	1	2		2	2			2		4	2	17
退所	1	2		2		2		1	1	3	2	1	15
うち末日退所													
月末入所人員	49	48	50	48	50	50	50	49	50	47	49	50	590

月初入所人員数には初日入所者を含む。月末入所人員には末日退所者を含む。

②前住地別入所者状況 (単位：人)

区分	現 員			平成 28 年度 異 動 状 況									
				入 所			退 所						
	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
市町村													
久慈市	12	35	47	6	1	17	4	10	14				
洋野町	1		1				1		1				
二戸市		1	1										
青森県野辺地町	1		1										
計	14	36	50	6	11	17	5	10	15				

③年齢別利用者状況

(単位：人)

区分	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計
男	1	1		2	2	4	4			14
女	1	3	1	1	4	14	8	3	1	36
計	2	4	1	3	6	18	12	3	1	50

④介護度別利用状況

(単位：人)

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男		1	3	6	4	14
女	1	2	6	17	10	36
計	1	3	9	23	14	50

⑤年間利用状況 (27年度は稼働日数を366日で算出)

(単位：人)

	28年度	27年度	対前年度(人)	対前年度(比)
1日当たり利用人員	49.3	49.3	0	100.0
利用延べ人員	17,992	18,043	△51	100.0

(9)短期入所生活介護事業について

指定居宅介護支援事業所との連携を密にし、利用者及び家族のニーズに基づくサービスの提供に努めた。

①短期入所者利用状況

平成29年3月31日現在 (単位：人)

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	21	23	21	23	21	21	20	21	23	24	21	23	262
(予防再掲)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
延べ利用者数	318	335	344	334	310	323	324	312	311	342	283	337	3,872
(予防再掲)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
実費利用者延べ数	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	11
1日平均利用者数	10.6	10.8	11.5	10.8	10.0	10.8	10.5	10.4	10.0	11.1	10.1	10.9	10.6

長期入所者が入院した場合は、空きベッドを利用して短期利用者を受入れている。

②年間利用状況 (27年度は稼働日数を366日で算出)

(単位：人)

	28年度	27年度	増減	対前年度(比)
1日当たり利用人員	10.6	9.8	0.8	108.2
利用延べ人員	3,883	3,584	314	108.8

3 養護老人ホーム養寿荘

入所者の社会復帰の促進及び自立の為に必要な指導及び訓練などで援助を行うとともに、その有する能力に合わせた自立を目指すものとして日常生活の支援を行った。

処遇計画を作成し、その計画に基づき施設生活における自立支援を目指し、家事・生活援助と軽微な介護サービスを行った。

老朽化に伴い介護用ベッドを購入し、サービスの向上に努めた。

(1)生活面及び健康面について

①生活面においては、季節感を取り入れるため下記の行事を開催した。

- ・誕生会(毎月開催) ・どんぐり喫茶 ・お茶会 ・花見会 ・遠足 ・園児交流会
- ・ドライブ ・音楽の祭典 ・収穫祭(ハロウィン) ・小学校交流会 ・敬老会
- ・大川目町郷土祭(作品出展) ・餅つき ・みずき団子づくり ・豆まき
- ・ひなまつり

②健康面の管理について

嘱託医及び協力病院と連携を図りながら早期対応に努めた。

健康診断を5月・10月の2回実施した。

(2)入所者、家族の意見等の反映について

苦情処理相談窓口を設置し、意見や要望の集約に努めた。

電話連絡や面会時の報告を多くすることで家族とのコミュニケーションの醸成に努めた。

(3)ボランティアの受け入れについて

ボランティアの受け入れを随時行い、高齢者とのふれあいに努めるとともに福祉の心の醸成に努めた。また、一般のボランティアも積極的に受け入れ利用者との交流を図った。

ボランティア	9件	・踊り・庭園等整備
訪問(学生等)	3件	・踊り・交流等

(4)食事について

食事を楽しんでいただけるよう入所者の身体の状態及び栄養の状態を把握し、嗜好に配慮するとともに、季節感のある食事の提供に努めた。

①行事食 35回 ②選択食 19回 ③嗜好調査 2回 ④残菜調査 2回

(5)委員会活動について

内部組織として、次の委員会を設置し生活の向上に努めた。

- ①行事・レク委員会 行事・レク活動等の準備・計画等を行った。
- ②リスク委員会 事故防止の検討、身体拘束廃止推進等を行った。
- ③環境委員会 生活環境の改善・整備、物品の管理等を行った。
- ④感染症委員会 感染症予防対策等を行った。
- ⑤排泄委員会 排泄介助の見直しを行った。

(6) 職員の資質向上について

外部研修への積極的な参加促進に努め、職員の資質向上を図った。

①外部研修会参加状況 39回

②内部研修会参加状況 4回

(7) 入所者の状況について

①月別入退所状況

平成29年3月31日現在(単位:人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初入所人員数	50	48	49	50	48	50	49	50	50	49	49	50	592
月中入所	1	2	2		2	1	1				1		10
月中退所	3	1	1	2		2			1				10
月末入所人員	48	49	50	48	50	49	50	50	49	49	50	50	592

②前住地別入所者状況

(単位:人)

区分	現 員			平成28年度異動状況						
				入 所			退 所			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
市町村										
久慈市	9	32	41	3	3	6	2	4	6	
洋野町	1	3	4		1	1		1	1	
野田村	2	2	4	1	2	3	1	1	2	
普代村		1	1					1	1	
計	12	38	50	4	6	10	3	7	10	

③年齢別利用者状況

(単位:人)

区分	~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95~99歳	100歳~	計
男		1	2	1	5	4				13
女		2	3	5	7	9	9	2		37
計		3	5	6	12	13	9	2		50

④月別面会状況

(単位:人)

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
面会者数	22	23	27	20	31	18	19	20	21	17	12	19	249	20.8

⑤年間利用状況(27年度は稼働日数を366日で算出)

(単位:人)

	28年度	27年度	増減	対前年度(比)
1日当たり利用人員	49.6	49.5	0.1	100.2
利用延べ人員	18,118	18,112	6	100.0

4 養寿荘特定施設入居者生活介護事業所

介護保険法及び老人福祉法の改正に伴い、平成18年10月より特定施設入居者生活介護事業所の指定を受け、施設サービスの一部について外部居宅介護サービス事業者から介護保険サービスの提供を受けている。利用している居宅サービスは訪問介護及び通所介護となっている。

①サービス別利用状況

平成29年3月31日現在(単位:人)

区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護者	訪問介護	33	33	32	35	37	37	36	35	37	36	36	37	424
	通所介護	13	11	13	14	13	13	12	12	13	14	14	14	156
要支援者	訪問介護	8	9	8	7	7	5	6	5	3	1	2	2	63
	通所介護	1	1	1										3
計	訪問介護	41	42	40	42	44	42	42	40	40	37	38	39	487
	通所介護	14	12	14	14	13	13	12	12	13	14	14	14	159

②サービス別利用状況延べ人数

(単位:人)

区分			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護者	訪問介護	身体介護	4,070	3,905	4,037	4,490	4,446	4,730	4,746	4,429	4,703	4,655	4,150	4,646	53,007
		生活援助	31	36	41	46	33	16	18	17	17	17	16	24	312
	通所介護	105	96	87	115	116	113	98	100	97	99	104	109	1,239	
要支援者	訪問介護	身体介護	72	80	68	70	70	44	51	47	27	9	16	18	572
		生活援助													
	通所介護	4	4	4											12
計	訪問介護	身体介護	4,142	3,985	4,105	4,560	4,516	4,774	4,797	4,476	4,730	4,664	4,166	4,664	53,579
		生活援助	31	36	41	46	33	16	18	17	17	17	16	24	312
	通所介護	109	100	91	115	116	113	98	100	97	99	104	109	1,251	

③介護度別利用状況

(単位:人)

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	1		4	6	1			12
女	1		10	6	5	4	1	27
計	2		14	12	6	4	1	39

④年間利用状況(27年度は稼働日数を366日で算出)

(単位:人)

	28年度	27年度	増減	対前年度(比)
身体介護延べ人数	53,579	56,435	△2,856	94.9
生活援助延べ人数	312	499	△187	62.5
通所介護延べ人数	1,251	1,101	150	113.6

5 養寿荘訪問介護事業所

平成 19 年 10 月より訪問介護事業所の指定を受け、訪問介護サービスの提供を行った。

①サービス別利用状況

平成 29 年 3 月 31 日現在 (単位: 人)

区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護者	33	33	32	35	37	37	36	35	37	36	36	37	424
要支援者	8	9	8	7	7	5	6	5	3	1	2	2	63
計	41	42	40	42	44	42	42	40	40	37	38	39	487

②サービス別利用状況延べ人数

(単位: 人)

区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
要介護者	身体介護	4,070	3,905	4,037	4,490	4,446	4,730	4,746	4,429	4,703	4,655	4,150	4,646	53,007
	生活援助	31	36	41	46	33	16	18	17	17	17	16	24	312
要支援者	身体介護	72	80	68	70	70	44	51	47	27	9	16	18	572
	生活援助													
計	身体介護	4,142	3,985	4,105	4,560	4,516	4,774	4,797	4,476	4,730	4,664	4,166	4,664	53,579
	生活援助	31	36	41	46	33	16	18	17	17	17	16	24	312

③介護度別利用状況

(単位: 人)

区 分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	1		4	6	1			12
女	1		10	6	5	4	1	27
計	2		14	12	6	4	1	39

④年間利用状況

(単位: 人)

	28 年度	27 年度	増減	対前年度(比)
身 体 介 護 延 べ 人 数	53,579	56,435	△2,856	94.9
生 活 援 助 延 べ 人 数	312	499	△187	62.5

6 デイサービスセンター（元気の泉・大川目地区・山根地区・宇部地区）

(1)元気の泉デイサービスセンター

- ・従来から積極的に実施している重度の要介護者の受け入れを行った他、休憩室及び浴室にカーテンを設置してプライバシーの確保に努めた。また、介護用ベッドの購入及び脱衣室にエアコンを設置し、利用者のサービス向上に努めた。

(2)大川目地区デイサービスセンター

- ・新規利用者の獲得に努めた結果、前年度より利用者が増加した。

(3)山根地区デイサービスセンター

- ・平成 28 年 4 月 1 日から「地域密着型通所介護」に移行したことにより、地域の方々を中心に構成した運営推進会議を開催して意見を頂き、サービス向上に努めた。
また、送迎車輛を購入し安全な送迎を行うことができた。

(4)宇部地区デイサービスセンター

- ・厨房の冷蔵庫と除雪機を購入し、利用者のサービス向上に努めた。

(5)共通実施項目

①計画的な運営管理の維持と実施体制の充実

- ・送迎については、乗降時の見守り、支援による安全、安心な乗降と、送迎計画を毎月見直すこと等により、可能な限り利用者の希望に沿った送迎体制をとるように努めた。
また、送迎計画を基に安全な送迎の実施を行った。
- ・健康確認については、バイタルチェック（体温、血圧、脈拍等）を行うことで、適切な健康状態の把握と対応に努めた。また、体調不良者については、家族及び担当ケアマネジャー等と連携し、早期対応に努めた。
- ・入浴については、利用者及び家族の利用目的の一つが入浴希望となっていることから、利用者の状態に合わせた入浴の実施に努めた。
- ・食事については、栄養士及び調理員が連携し、利用者の身体状況に合わせ栄養、嗜好も考慮し、季節感のある食事の提供に努めた。
- ・感染症対策として、利用者、職員等の手洗い、うがいと施設、車内の消毒を徹底し、感染の防止に努めた。また、インフルエンザ流行時には文書にて利用者、家族に注意を呼び掛けた。

②通所介護計画等による適切なサービスの提供

- ・利用者ごとに担当者を決め、担当職員が中心となり個別のケアプランを作成した。このケアプランを基に担当ケアマネジャー等との連携を図り支援内容の充実に努めた。
- ・毎日、朝、夕のミーティングを実施し、利用者の情報を共有することで、職種間のスムーズな連携に努めた。

③利用者及び家族等に対する支援体制の充実

・連絡帳の活用や送迎時等、家族との情報交換を実施することで、利用者の健康状態等の把握に努めた。

④開かれた施設づくりを目指して、地域との連携強化

・開かれた施設づくりを目指して地域との連携強化に努め、元気の泉デイサービスセンターではボランティアの受け入れを行った。また、大川目地区デイサービスセンターでは久慈職業訓練校の介護実習の受け入れを行った。

・大川目地区デイサービスセンターでは、併設の養護老人ホーム養寿荘との交流の機会を持つことで地域との交流を図った。

・大川目地区デイサービスセンター及び宇部地区デイサービスセンターでは地域の文化祭への参加を行った。

(3) レク活動について

季節行事などを積極的に取り入れ実施した。

また、機能訓練としても位置付け、体操との整合性や運動性が図れるプログラムにより実施した。

(4) 利用者の意見等の反映について

苦情処理相談窓口を設置し、意見や要望の集約を図った。また、利用者アンケートを実施することで利用者及び家族からの意見や要望の集約を図り、このアンケート結果を事業運営に反映するように努めた。

(5) 職員の資質向上について

外部研修へ参加し、職員の資質向上を図った。

①外部研修会参加状況 13回

②内部研修会参加状況 7回

(6) デイサービスセンター間の連携

相談員会議を毎月1回実施し、各デイサービスセンター間の情報交換を行うことで、事業運営、業務の効率化を図った。

(7) 利用状況について

① 月別利用状況（1日当たり利用人員）

平成 29 年 3 月 31 日現在（単位：人）

	28 年度	27 年度	増減	対前年度(比)
元気の泉デイサービスセンター	20.4	21.2	△0.8	96.2
大川目地区デイサービスセンター	15.5 (2.0)	15.0 (1.7)	0.5	103.3
山根地区デイサービスセンター	12.2	12.4	△0.2	98.4
宇部地区デイサービスセンター	14.0 (2.1)	15.3 (1.8)	△1.3	91.5
計	62.1 (4.1)	63.9 (3.5)	△1.8	97.2

() 内は、養寿荘利用者

② 年間利用状況（利用延べ人員）

（単位：人）

	28 年度	27 年度	増減	対前年度(比)
元気の泉デイサービスセンター	7,339	7,631	△292	96.2
大川目地区デイサービスセンター	4,768 (605)	4,650 (538)	118	102.5
山根地区デイサービスセンター	2,989	3,193	△204	93.6
宇部地区デイサービスセンター	4,306 (646)	4,715 (563)	△409	91.3
計	19,402 (1,251)	20,189 (1,101)	△787	96.1

() 内は、養寿荘利用者

7 元気の泉居宅介護支援事業所

(1) 事業運営

利用者の委託を受け、利用者の心身の状況その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき居宅サービス計画を作成し、適切なサービス等の提供が確保されるようサービス提供者との連絡調整を図り支援を行った。

(2) 事業内容

- ①介護サービス及び介護予防サービス（介護予防・日常生活総合事業）支援
- ②介護支援専門員実務研修実習生の受け入れ
- ③利用者及びサービス提供等に関する定期会議
- ④24時間連絡受付及び相談対応体制の確保

(3) 職員の資質向上について

外部研修へ参加し、職員の資質向上を図った。

- ①外部研修会参加状況 48回
- ②内部研修会参加状況 2回

(4) 利用状況について

①月別・介護度別利用者数 (単位：人)

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
事業対象者	—	—	—	—	—	—	1	2	2	4	3	1	13
要支援1	6	7	9	9	9	8	8	7	7	6	5	5	86
要支援2	8	8	6	6	5	5	5	4	3	3	6	5	64
要介護1	38	37	41	42	44	46	48	49	48	42	49	48	532
要介護2	32	32	31	31	30	32	35	34	29	29	31	34	380
要介護3	13	14	17	14	12	12	11	10	13	12	14	15	157
要介護4	24	24	24	22	20	19	16	15	14	16	17	17	228
要介護5	6	7	7	8	9	6	5	5	6	6	8	6	79
計	127	129	135	132	129	128	129	126	122	118	133	131	1,539

※事業対象者は「介護予防・日常生活総合事業」の対象者。(平成28年10月より開始)

- ②介護支援専門員実務研修受け入れ
1名(平成29年1月20日、26日、27日の3日間)
- ③利用者及びサービス提供等に関する定期会議の実施(事例検討を含む)
回数46回(概ね週1回実施、介護支援専門員4名・管理者1名・主任事務員1名)
- ④24時間連絡受付及び相談対応件数 19件

8 元気の泉（訪問介護事業所・訪問入浴介護事業所・ヘルパーステーション）

(1) 事業運営

訪問介護及び訪問入浴介護計画に基づき、要介護者等の心身の特性を踏まえて、居宅等においてその有する能力に応じ自立した日常生活ができるよう、入浴、排泄、食事の介護、その他生活全般にわたる援助を行った。

また、障がい者が居宅において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の置かれている環境に応じ、入浴、排泄、食事、調理、洗濯及び掃除等の家事並びに生活全般の支援、また、行動援護等を適切かつ効果的に行った。

(2) 職員の資質向上について

外部研修へ参加し、職員の資質向上を図った。

①外部研修会参加状況 2回

②内部研修会参加状況 7回

(3) 利用状況について

①月別利用実績（訪問介護事業所）

（単位：人）

区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
要介護者	身体	実人数	1	1	1	2	2	1	2	2	1	2	1	2	18
	介護	延人数	9	9	8	11	7	8	11	9	8	9	8	9	106
	生活	実人数	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	15
	援助	延人数	29	29	58	54	42	49	51	44	47	39	50	54	546
要支援者	実人数		1	1	1	1	1	1	1					8	
	延人数		5	4	4	5	4	5	4	2					33
延人数計			43	42	70	70	53	62	66	55	55	48	58	63	685

②月別利用実績（訪問入浴介護事業所）

（単位：人）

区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人数	7	8	8	8	7	6	9	8	8	8	7	7	91
延人数	20	28	27	29	24	25	26	25	26	22	22	23	297

③月別利用実績（ヘルパーステーション）

（単位：人）

区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
延人数	5	5	7	5	4	6	4	6	5	7	5	7	66

9 久慈老人福祉センター

(1) 管理運営について

久慈市の指定管理のもと、施設管理については久慈市シルバー人材センターに管理を委託するとともに適切な管理に努めた。

① 月別利用実績

(単位：人)

区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
60 歳 以上	男	17	58	28	27	40	38	32	39	27	22	21	34	383
	女	14	12	1	6			12	1	1			29	76
	計	31	70	29	33	40	38	44	40	28	22	21	63	459
12 歳以上 60 歳未満														
6 歳以上 12 歳未満														
計	31	70	29	33	40	38	44	40	28	22	21	63	459	

② 年間利用状況

(単位：人)

	28 年度	27 年度	増減	対前年度(比)
利 用 延 べ 人 数	459	554	△95	82.9